

Q. 増える空き地、空き家の問題解決は

A. 空き家の取り壊し補助制度で住環境の改善へ



藤岡 緑 議員

問

① 少子高齢化、人口減少などで全国的に増加する空き地、空き家、廃屋問題に対する町の解決策は。

② 活用できる家屋の情報バンクの創設で利用したい側のニーズとマッチングさせることができれば、さらに有効活用ができると思うが、町の考えは。

答

まちづくり課長

① 町内の空き家は、その大半が住宅密集地にあり、長年放置され狭い道路に立ち並び隣接する住宅に被害を及ぼしかねない。

この被害を防止するため平成17年度から空き家を取り壊す人に対し補助制度を設け、その跡地を町が管理する制度を実施している。結果として今年度末までに17件の空き家が取り壊される予定だ。

町としては住民の不安を解消して防災力の



老朽化した空き家

向上と住環境の改善を図るため、今後この事業を推進する。

② 情報バンクを利用した空き家の活用については、今のところ考えていない。

理由は、このような住宅のほとんどが老朽化して、建築法の新耐震化基準をクリアしておらず安全に活用できないから。

問 コンパクトシティの利点を生かした施策を

松前町は、平野だけの20kmに3万人が住む、買物など日常生活に大変便利なコンパクトシティだ。ただ便利が故に、観光面での施策に乏しい。

庁舎入り口などに観光掲示板の設置や、観光ルートの提案また魅力ある仕掛けを住民や専門家など交えてアイデアを出し、町の利点を生かした観光施策につなげてほしい。町の考えは。

答

観光スポットの紹介は広報で行い、今すぐの観光掲示板の設置は考えていない

産業課長

町内の多くの人が集まる場所に観光パンフレットを置きホームページや広報誌にも掲載して観光スポットをアピールしている。文化財や親水公園などわかりやすく説明しているの、今すぐ観光用の電光掲示板などの設置は考えていない。

観光ルートについては観光資源の整備が先決。



ひよこたん池公園



福德泉公園



有明公園



8月に愛媛県から県内全市町にサイクリングコースの提案依頼があり町としてはコース名を「泉めぐり」として提案。松前公園から思い通り、塩屋海岸、ひよこたん池公園、福德泉公園、有明公園をめぐって出発地点に戻るというコースを考えている。これが県の策定コースとして位置づけられるよう努力したい。

今後も観光振興や地域活性化につなげていく取り組みをしていきたい。